



# 外国人市民による 日本語スピーチコンテスト

今年も2月16日に「外国人市民による日本語スピーチコンテスト」が川崎市国際交流センターで行われました(コンテスト参加者は9ヵ国13人)。3人の受賞者と、コンテスト後の交流会に参加した外国人市民に感想を聞きました。



最優秀賞

モンガテコムワスイマコンゴロさん

●タンザニア

「チップとサービス」

チップがないことが日本の安全な社会につながっているという分析を、素晴らしい話力で語りました。精悍な印象でしたが、話してみるととても優しく穏やかな青年です。

**Q**日本語は何年くらい学んだのですか？

**A**断続的ですが、タンザニアで3年くらいです。

**Q**将来は何をしたいですか？

**A**もっと日本語を勉強して、輸出入関係の仕事で、日本とタンザニアの関係を強めることに貢献したいです。

## 交流会参加者

●キンバリー・モスピーさん(アメリカ)

**Q**このコンテストにはよく来られるのですか？

**A**初めてです。国際交流協会の「日本語講座」のクラスメートのスピーチを聴きにきました。

**Q**コンテストはいかがでしたか？

**A**感動しました。色々な国の人が嬉しかったことや悲しかったことを話しましたが、私の経験と同じでした。話の内容



審査委員長賞

徐 楽遥さん

●中国

「夢」

「日本のアニメには夢がある。私はアニメの仕事で世界の若者に夢を届けたい。色々難しいことがあるけれど、私が夢を捨てなければ、夢も私を捨てない。」と信じて頑張っている、はつらつとした女性です。

**Q**昨年9月に来日されたのですが、日本語が大変上手ですね。

**A**中国で2年くらい勉強しました。日本のアニメがとても役に立っています。

**Q**今日の実賞は自信になりますね？

**A**まだ自信までは行きませんが、とても励まされます。もっともっと日本語を勉強して、色々なところを旅行して、日本のことを広く知りたいです。



川崎商工会議所会頭賞

チャン・ミエ・マウンさん

●ミャンマー

「ミャンマーの元ひきこもりですが」

ミャンマーで「ひきこもり」だったチェンさんは、日本に住んでいる親戚の人のアドバイスで来日。「優しくて、一生懸命働く日本人を見て人生が変わりました。日本にも『ひきこもり』の人がいるのを見て、周りの人は声をかけてあげよう」と、経験をもとにしっかりと訴えました。

**Q**日本語はミャンマーで学びましたか？

**A**大学と日本に住んでいる親戚の人からも習いました。

**Q**これから日本で何をやってみたいですか？

**A**日本の大学に行って、日本で就職したいです。

はポジティブなことが多かったのが嬉しかった。私は日本が大好きですから。

●中国人の若い男性と、女性二人のグループ

**Q**コンテストの感想は？

**A**私たちはまだ日本語がよく話せないので付き合いは中国人だけですが、ここでは色々な国の人の話が聴けて勉強になるし、友達になれます。コンテストと交流会は、本当に良い交流の場です。

司会をつとめた  
ヴィクトリアさん  
(ロシア)



交流会は日本も含めて10ヵ国の人たちの和やかで実りある多文化交流が行われました。ボランティアのヴィクトリアさん、素晴らしい司会ありがとうございました。

(取材・文:編集ボランティア 小島俊彦)